CITIZEN

取扱説明書番号
M428 - CXXZ

クオーツ
報時付掛時計　取扱説明書

～ 製品の特長 ～

●毎正時になるとカッコーが扉を開け、鳴き声の数で時刻をお知らせします。また、30分には1回鳴きます。

お買い上げありがとうございます。
○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社　〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。　例．4MJ○○○

お問い合わせ先　**■お客様相談室**　**フリーダイヤル 0120-557-005**
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。　(Y1108)

電池・時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池を取り外してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

常温での時間精度	平均月差　±20秒　（常温中のクオーツ精度）
報時精度	毎正時に対して±30秒
報時音	ふいご式　毎正時：数取り　30分：1回
使用温度範囲	－10 ～ 50℃ ＊結露しないこと
使用電池	単1形マンガン乾電池 JIS規格R20P　1個
電池寿命	約1年
その他	報時　ON/OFFスイッチ 飾り振子付き

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

振り子	1個	分銅	2個
木ねじ	1個		
単1形マンガン乾電池	1個		
取扱説明書	本書	保証書	1枚

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ **警告**　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容
⚠ **注意**　傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

⚠ 警告

必ず守る
誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないで万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止
電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池を加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から液もれが起きてしまったときは、素手でさわらない

●電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になるところでは使わない
さびの発生や故障の原因になります。

分解禁止
分解したり改造しない
故障の原因になります。

必ず守る
落としたり、たたいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

■使用場所について

必ず守る
下記のような場所では使わないでください。
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する所。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プールや温泉場など、ガスの発生する所。
●調理場など、多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　**正しく使って事故をなくしましょう**

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例．Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

※ⓐⓑⓒは、輸送時に保護するためのものです。

【裏ぶたの取り扱い】

レバー

裏ぶた

壁掛け部

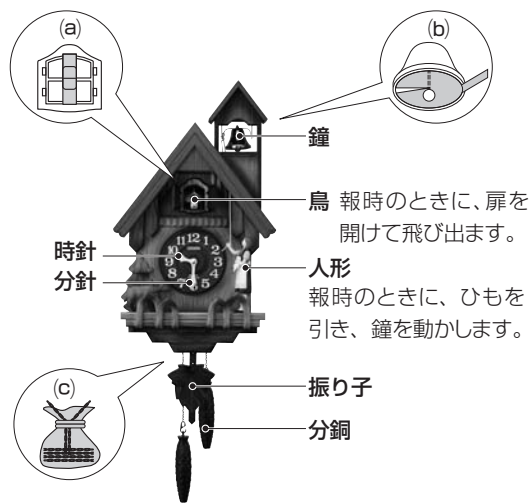
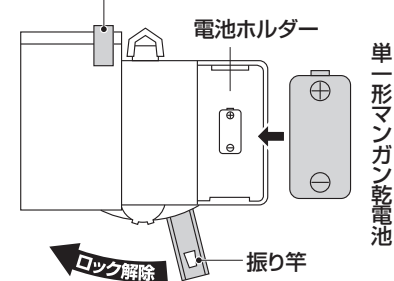
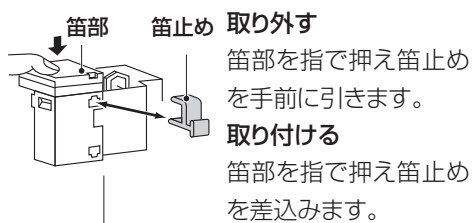
裏ぶたを取り外すとき
レバーを下に押しながら手前に引きます。

裏ぶたを取り付けるとき
裏ぶたの下部を本体の溝に差し込み、閉じてください。

【笛止めと振り竿】

笛部　笛止め

取り外す
笛部を指で押え笛止めを手前に引きます。

取り付ける
笛部を指で押え笛止めを差込みます。

矢印の方向へ指で押してロックを解除します。

※輸送する際は必ず笛止めを取付け、振り竿をロックしてください。

※ロックまたはロックを解除するときに固いことがあります。このようなときには、少し力を入れて操作してください。

【時刻の合わせかた】

分針をゆっくり回して、時刻を合わせます。

注意

時針には触れないでください。
故障や時間違いの原因になります。

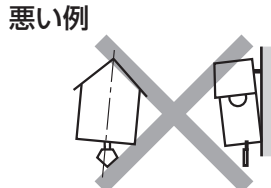
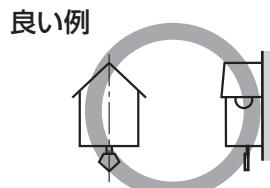
【報時スイッチの設定】

鳴らすとき　鳴らさないとき

報時スイッチは時計本体の右側面にあります。

時計は垂直に掛けてください。

良い例

悪い例

※垂直に掛けないと、振り子が止まったり、動きが不規則になります。

※扇風機やエアコンなどの風が当たると振り子が止まったり、分銅が揺れますので注意してください。

※お子様の手の届くところに設置しないでください。

電池の交換について

⚠注意 電池からの液もれにより、**時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。**

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、すぐに新しい電池を交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。

●電池の⊕⊖を逆に入れない。

※電池は、報時を使用しないと長持ちしますが、液もれが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。

時計を操作するときの注意

⚠注意 時計を壁から取り外すときは、振り子と分銅を先に取り外す

振り子や分銅を付けたまま操作すると、分銅が家具や人に当たり、きずやけがの原因になります。

時計の使用方法

❶ 固定部材ⓐⓑを取り外す

鐘の内側と、扉部分にある固定部材を取り外してください。

❷ 裏ぶたを取り外す

❸ 笛止めをはずし、振り竿のロックを解除する

裏ぶたをはずすと時計機械部が見えます。左図のように笛止めをはずし、振り竿のロックを解除します。

❹ 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて正しく入れると、時計が動き始めます。

※⊕⊖を逆に入れると時計は動きません。

❺ 裏ぶたを取り付ける

❻ 時刻を合わせる

分針（長い針）を指でゆっくり回して、時刻を合わせます。

※針を早く回すと、報時数が合わなくなることがありますので、必ずゆっくり回してください。

※分針を４５～０分までの１５分間で時刻合わせをした場合、最初の正時では時刻と報時数が合わないことがありますが、次の正時から正常に報時します。

❼ 報時スイッチを設定する

カッコーを鳴らすときは報時スイッチをＯＮにし、鳴らさないときはＯＦＦにします。

報時は、毎正時と３０分に鳴ります。

※カッコーが鳴っているときは、報時スイッチをＯＦＦにしないでください。

※報時スイッチをＯＦＦからＯＮにした場合、最初の正時では時刻と報時数が合わないことがありますが、次の正時から正常に報時します。

※暗くなると報時を止める自動鳴り止め装置は付いていません。

※音量は調節できません。

❽ 時計を掛ける

⚠警告 時計を確実に掛ける

時計が落下すると、けがや破損の原因になりますので、次の事項をお守りください。

○**時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。**

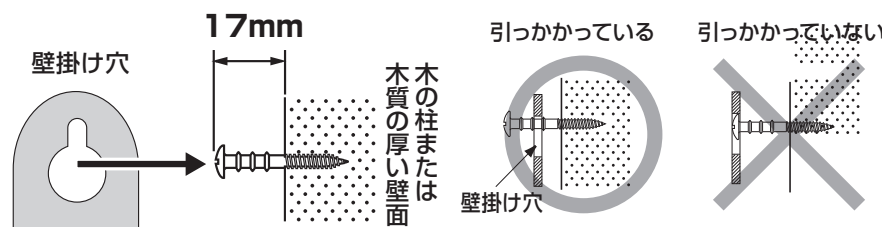
○時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けてください。

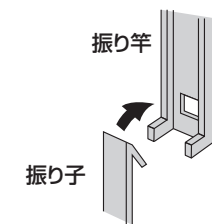
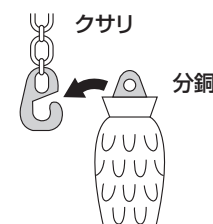
木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

❾ 振り子と分銅を取り付ける

時計を掛けてから、分銅と振り子を取り付けてください。

時計正面側から振り子を振り竿に掛けます。

クサリを包んでいる袋ⓒを取り除き、クサリの先端に分銅を付けてください。

※クサリの長さは、調節できません。